

六月になって、パンダさんのプランターではキュウリの弦が伸び、立派な実がついていました。ライオンさんは大きな玉ねぎを自慢そうに持って来て「立派だろう！」と胸を張って見せてくれました。キリンさんはいただいた梅をシロップにしてみんなにふるまってくれました(ライオンさんも)。それぞれの年齢で違う植物を育てています。畑ではジャガイモ、サツマイモ、トウモロコシ、トマト、キュウリやピーマン、オクラなど多種多様な野菜類を栽培しています。それらは確実に育っています。「いい時期になったなあ」と季節の変化を感じ取っていたのですが、ある日の新聞記事を思い出しました。

それは「季節の味わい残す旧暦」という山陰中央新報の「羅針盤」でした。その内容は「五月晴れ、と言ってみたり、だらだらと降り続く五月雨と言ってみたり、抜けるような青空なのか、だらだらした空模様なのか、どうも五月はいそがしい。」というもの。この五月(さつき)は旧暦であって、現在の6月から7月に当たります。そう、今の時期なのだということ。五月雨は梅雨に降り続く雨(さみだれ)をあつめてはやしみがみ(がわ)、五月晴れは梅雨の晴れ間のこと。やがて半夏、半夏は笹巻を作る時期、すでに笹取りを終えられたところもあるでしょうか。

行事の中には、今も旧暦を手がかりにするものがあります。お盆や中秋の名月、旧正月などは、その年の旧暦をもとに日が決まるため、現代のカレンダーでは毎年違う日になります。今の生活は新暦ですが、時々旧暦の視点を思い出してみると、夜空の月や季節の移ろいを、昔の人と同じ感覚で味わうことができるかもしれないなどと考えました。

園で子どもたちが自然と向き合うとき、保育者として旧暦のことや24節気のこと、農業と深く結びついた雑節のことを思い出してみるのも大事ではないかと思っています。特に農業や栽培に関しては、この節気や雑節が人々の大事な生活の目安になっていたことはすごいことと思います。

さて、梅雨入りしてからしばらく雨が降りません。畑の生き物は水分を欲しがっているだろうと思いますが…。この時期になると思い出すお話があります。それは「ふるやんもり」、いえいえ「ふるやのもり」。内容は、「古い家に住むおじいさんとおばあさんが、雨漏りを心配しながら『泥棒よりも、おおかみよりも、いちばん怖いのは“ふるやのもりだ”』と話します。ちょうどその家には、屋根裏に泥棒、外にはおおかみがひそんでおり、二人の会話を聞いて「ふるやのもりって、どんな恐ろしい化け物だろう」と震え上がります。やがて雨が強くなり、古い家のあちこちから雨漏りがします。天井裏の泥棒の首に、ぼたりと冷たいしずくが落ちた瞬間、泥棒は「ふるやのもりにさわれた」と思って悲鳴をあげて飛び出します。その姿を見たおおかみも、「ふるやのもりが出た」と勘違いして大あわてで逃げ出し、二人と一匹は大混乱。猿まで登場して猿のお尻が真っ赤になった逸話付き。こうして、雨漏り「古屋の漏り」こそが、実はいちばん怖いものだった、というゆかいな昔話。これこそこの梅雨時の物語。

この文を書いている年寄りの頭の中は、あっちへ行ったりこっちへ来たりと忙しい。だらだらと続く文章は、梅雨以上に嫌われるとわかっていながら…。どうぞ、子どもたちにお話を聞かせてやったり絵本の読み語りをしてやってください。幼い時に心に残る物語がひとつでもあれば…。

6月5日(金) ぼんだ・きりん・らいおん親子遠足

開園初の親子遠足で3～5歳児が浜山公園と出雲ドームへ！公園で体を動かし、ドームではお弁当やレクを楽しみました。「じゃんけん列車」と「猛獣狩り」に行こうよ・よこたこども園バージョン」で保護者さん同士の交流も生まれ、和やかな時間に。0～2歳児も園でお弁当を食べ、元気に過ごしました。



6月の保育目標

「梅雨の自然に触れ、楽しく遊ぶ」

梅雨の時期ならではの自然に触れ、五感を使って楽しく遊びます。雨上がりの水たまりに飛び込んで泥の感触を楽しんだり、濡れて生き生きとしたアジサイやカタツムリを観察したり。この季節だからこそ出会える発見を大切にしながら、雨の日も子どもたちがワクワクして過ごせる工夫をたくさん行っていきます。

キラキラ笑顔がはじける！

梅雨の晴れ間の水遊び



梅雨の晴れ間に、子どもたちは砂や水の心地よい感触を全身で味わっています。

3～5歳児は、園庭の砂場に水を流して「温泉」に見立てて足を浸したり、竹といに水を流して勢いよく進む水の不思議さを面白がったりしています。0～2歳児は、たらいの水を両手でパチャパチャと叩き、歓声を上げて水しぶきを楽しんでいます。

先月から楽しんでいる泥遊びから一歩進み、今月末から始まるプール遊びへとつながる、この時期ならではのほじける笑顔があふれています。



先日はお忙しい中、園の環境整備作業にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様のおかげで園庭や園舎、また旧馬木幼児園と八川幼児園も見違えるほどきれいになり、子どもたちが安全に、のびのびと過ごせる環境が整いました。心より感謝申し上げます。



7月のよこたこども園 行事予定

青:他園交流
緑:保護者参

- 1日(水) 救急法講習
- 2日(木) 笹巻き交流会(4, 5歳児)
- 7日(火) さくら組七夕コンサート
- 11日(土) 環境整備作業予備日
子育て教育相談肥後功一先生
- 17日(金) ふれあいデー(きりん組)
- 23日(木) 園内研修(うさぎ組)
- 29日(水) クラス懇談会(うさぎ組)

園外活動

- 1日(水) 鳥上わくわくプール(4, 5歳児)
- 8日(水) 馬木水辺の楽校(5歳児)
- 9日(木) 鳥上わくわくプール(3歳児)
- 16日(木) 鳥上わくわくプール(2歳児)
- 22日(水) 馬木水辺の楽校(3歳児)
- 30日(木) 馬木水辺の楽校(4, 5歳児)

8月の予定

- 4日(火) ふれあいデー(ぱんだ組)
- 12日(水)～15日(土) 盆希望保育

7月のよこた子育て支援センター行事予定

- 4日(土) 子育て支援センター 開放日
- 6日(月) 子育て支援センター 休館日
- 7日(火) さくら組七夕コンサート
- 9日(木) みんなであそぼう
- 11日(土) 子育て教育相談day
- 15日(水) ママのリフレッシュ
- 16日(木) にこにこわらリズム
- 19日(日) 子育て支援センター 開放日
- 21日(火) 子育て支援センター 休館日
- 24日(金) 子育てひろば(よこたこども園)
- 29日(水) みんなであそぼう

よこた支援センター 開設時間
9:30～15:30 (月～金)

《7月・8月の健診》

- 7月9日(木) 5歳児健診…令和3年4月～9月
- 7月23日(木) 3歳児健診…令和4年11・12月生
- 8月6日(木) 1歳6ヶ月児健診…令和6年12月生
令和7年1月生
- 8月20日(木) 乳児健診
4・5ヶ月検診…令和8年3・4月生
7・8ヶ月検診…令和7年12月生
令和8年1月生
10・11ヶ月検診…令和7年9月・10月生

「まなびの芽」

【小さな紙飛行機が繋いだ、3歳児たちの大きな成長】

雨の日、3歳児の部屋で折り紙の紙ひこうき作りが始まりました。上手に折れるAくんが得意そうな表情を見せると、「作って」と集まる友達に、保育教諭は「A君に教えてもらおうか」提案。するとA君は嬉しそうに、友達に丁寧に教え始めました。保育教諭が先導しなくても、子ども同士で自然と遊びが展開していく姿に成長を感じます。

その後、飛ばした紙ひこうきが背の高い窓枠の台拭き掛けに引っかかってしまいました。ここから、子どもたちの素敵な、「学びの芽」が次々と輝きだします。

🌱 どうすれば取れる? 「思考力の芽生え」

どうするのかなと見守っていると、Bくんがままと用の手作りフライパンを持って来て、つつき落そうと考えました。

🌱 力を合わせてやってみよう! 「共同性と言葉による伝え合い」

それでも届かない様子を見たCくんが、「貸して」と自ら声をかけ、手を伸ばして見事に救出! 周りのみんなと、「やったー!」と声を合わせ、部屋中がこれまでになかった一体感に包まれました。

実は、新しい環境に不安や緊張を抱えていた子どもたち。特にCくんは、4月初旬は寂しさから涙を流して保育教諭に寄り添う日もありました。そんなCくんが自分から友達に声をかけ、力を合わせてトラブルを解決し、笑顔をはじけさせたのです。遠くから見守っていた保育教諭も、胸が熱くなるほどの大きな喜びをもらいました。

紙ひこうきが取れた後、BくんとCくんの間には特別な仲間意識が芽生えたようで、「お昼寝からも起きたら一緒に遊ぼうね」と言葉を交わしていました。

3歳以上児の生活が始まったばかりのこの時期。子どもたちだけの関わりの中で、保育要領が示す「10の姿」につながるたくさんの学びの芽を見つけることができた、雨の日の心温まるエピソードでした。

